

ZONOAシリーズ
HARERU・HARERU ion
施工要領書

※施工前に施工要領書をよくお読み下さい。

※各ページの注意事項・免責事項もよくご確認下さい。

安全上のご注意

1. 副資材または推奨する両面テープと接着剤を使用して施工して下さい。
2. 建築基準法・火災予防条例などの法令・法規に従い施工して下さい。
3. 切断加工時は粉塵が発生します。マスクや保護眼鏡等を使用して下さい。
4. 高所作業の場合、足場の確認及び安全帯の仕様を徹底して下さい。

製品名

ZONOAシリーズ HARERU

商 品 名	HARERU / HARERU ion
製 品 名	乾式漆喰パネル
製 品 規 格	300×600(mm) t=7~8.5
表面仕上げ	ZONOAパターン仕上げ (ZONOAの仕上げに準ずる)
製 造 元	株式会社ナガショウ

副資材

タッチアップ材 2ケースにつき50g (製品同梱)

施工用資材推奨品

接着剤	エコエコボンド変成シリコーン系 ボンド SU25/MPX-1/エフレックス など
両面テープ	ボードテープ310 TP-754 (石膏ボード、ケイカル板下地の場合) ボンドTMテープ W1-20/R1-25 など
タッカー	ピンタッカー

注 意 事 項

- ・冬季等、低温で接着しにくい場合は、接着剤、両面テープを温めてからご使用下さい。
- ・浴室や外装には使用できません。
- ・クリーンルームには、ご使用にならないようお願いいたします。

施工要領

【施工前の下地の確認】

- ・下地は不陸の無いように仕上げてください。
- ・タイルに施工する場合はタイルの浮き・カケ等を施工用接着剤で充填した後、カチオン系樹脂下地材で平滑に仕上げてください。
- ・下地がけい酸カルシウム板の場合テープの接着が悪い場合があります。市販のプライマー塗布をおすすめします。

施工可能な下地	石膏ボード／けい酸カルシウム板／フレキシブル板／ビニルクロス
施工に適さない下地	湿気を帯びた下地／不陸の大きい下地／強度のない下地 など

1 墨出し・割り付け

貼り方パターンを決め、下地側に墨出しを行ってください。

割り付けの際カットが必要なパネルがある場合は、その裏面にも墨出しを行ってください。

注 意 事 項

- ・割り付け時、ドアや天井照明器具廻りの仕上げの際には、化粧板をL字型状態に切込むことを避け、切込みの無いような割り付けとしてください。
- ・室圧差による壁、天井の動き、ドア開閉の衝撃、機器の振動により切欠部分からクラックが発生することがあります。

2 HARERU切断加工・面取り

切断・加工・穴あけ

電動丸ノコによる切断	パネル裏面からマルノコを当て、刃先がパネル表面から裏面に抜けるように切断してください。（化粧面の「キズ・打跡」には充分注意してください。） お手元のハンディソーに合った外形、刃厚でチドリ刃をご使用下さい。
カッターによる切断	パネル裏面からカッターで数回切込みを入れます。板厚の中間程度まで切込みが入ったら、意匠面を上向きに入れ替え、机や作業台に端部を押さえつけ、切込み位置で割るように切断してください。
切断部の木口 ・面取り加工	サンドペーパー等を使用し、面取りをして下さい。 面取り後は、必要な場合タッチアップ材を用いて小口塗装をして下さい。

穴あけ	ハンドドリル又は電動ドリルを使用して下さい。
開口部加工	割付け上、やむを得ず切り込み部が発生する場合、意匠面を傷つけない様に注意して下さい。切断、穴あけ後は、サンドペーパーで木口を整えて下さい。

注 意 事 項	
・	切断時、化粧面の汚れやスリ傷に注意し、養生材や緩衝材を用いて保護して下さい。
・	切断時には粉塵が発生しますので、切断器具には粉塵吸引装置を設け、防塵マスクや保護メガネ等をご使用下さい。
・	粉塵が目に入った場合はこすらず流水で洗浄してください。また、吸引した場合は、うがい等を行って下さい。

3 小口の塗装処理

カット加工したパネルの小口を塗装する場合、同梱のタッチアップ材を使用して塗装して下さい。

刷毛の場合	カット面の小口に均一に塗りつけ、約12時間 しっかり乾燥 させて下さい。
鋺の場合	カット面小口にフラットに塗りつけ、約12時間 しっかり乾燥 させて下さい。 意匠面の塗り掛かりを防ぐ為、意匠面に養生し塗装するようにして下さい。

4 HARERUの貼り方

工法 1 TM工法（両面テープ+接着剤）

テープ、接着剤は、1ページに記載の推奨品を用いて下さい。

①HARERU背面所定の位置(図1,2)に両面テープを貼り合わせ、その間に接着剤を塗布します。

②両面テープの剥離紙をはがして、下地に貼り合わせます。

壁貼りの例（背面）

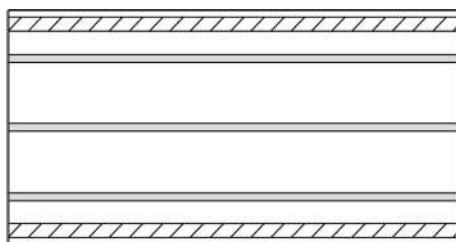


図 1

天井貼りの例（背面）

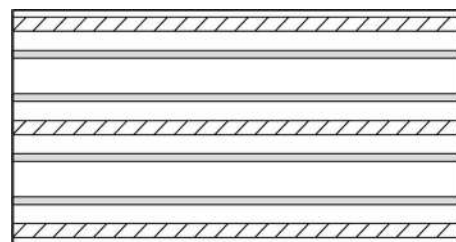


図 2

////// 両面テープ ———— 接着剤

工法2 タッカー工法（ピンタッカー+接着剤）

タッカー、接着剤は、1 ページに記載の推奨品を用いて下さい。

①HARERU背面所定の位置(図3,4)に接着剤を塗布します。

②下地に貼り合わせ、HARERU背面所定位置（図3,4）にピンタッカーを打ち込みます。

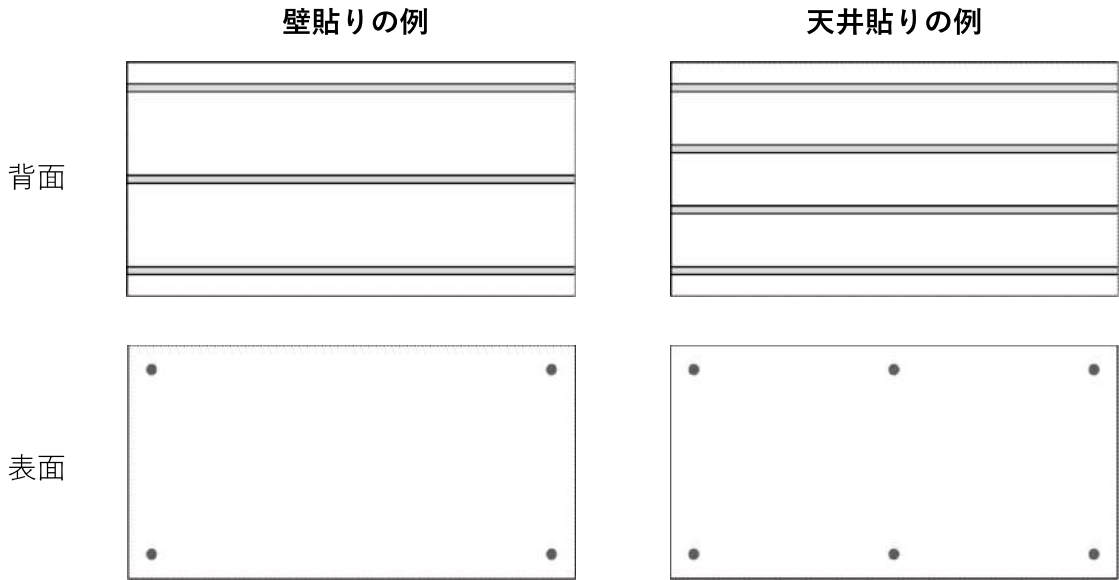


図 3

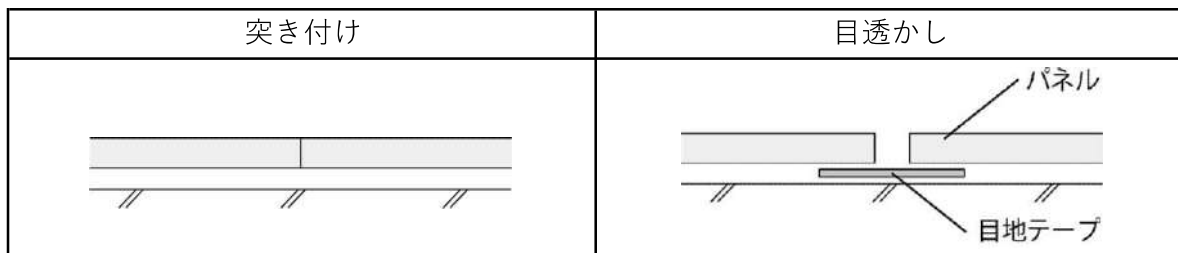
図 4

—— 接着剤 ● タッカー打設位置

5 パネルの目地処理

パネルの位置・目地処理・目地幅を決めた後、パネルを十分に圧着させて下さい。

30～40分後、再度表面より十分に圧着して下さい。



注 意 事 項

- ・ 貼り付け前に、下地に凹凸がないことを確認してください。
- ・ ゴムハンマーなどによる圧着は避けてください。
- ・ 手で勢いよくパネルを下地に押し付けしないで下さい。
- ・ パネル化粧面に手や物が触れると傷や汚れが付着する場合がありますので、保護EPEシートを施工完了まで外さないようにして下さい。
- ・ 水廻りに施工する場合は、下地に水が回らないよう両面テープを**防水用テープ**に変更し施工して下さい。

6 養生

取付後、約1日静置して下さい。

注 意 事 項

- ・養生シート等の貼り付けの際にはガムテープ等強粘着のテープは使用しないで下さい。

7 清掃・片付け

化粧面が汚れないよう細心の注意を払って下さい。

ウエスや刷毛等で落ちない汚れは同梱のタッチアップ材にて補修し、約12時間よく乾燥させて下さい。

残材は作業所管理者の指示に従い処分して下さい。

8 完了・引渡

クリーニング方法

パネルの日常のクリーニングは以下の通りに行ってください。

【日常のクリーニング方法】

埃や塵等の付着については刷毛やウエス等で払い落とすことができます。

傷や欠け、着色等の汚れは付属のタッチアップ材を、筆等の先の細い道具

でなじませながら塗布し、12時間以上乾燥させて下さい。

注 意 事 項

- ・金属たわし、ナイロンたわし等傷やツヤ変化の原因となりますので、使用しないで下さい。
- ・汚れが落ちない場合に強く払い落とすと化粧面を傷つける場合があります。
- ・水拭き等の水分を含んだもので化粧面を拭かないで下さい。

保管に関する注意事項

- ・直射日光や湿気の多い場所を避け、風通しの良い屋内に保管して下さい。
- ・地面への直置きは避け、平らな場所でパレットなどの上に平積みして下さい。
壁などに立てかけると、欠けや破損の原因となりますので、絶対におやめ下さい。
- ・製品保護のため、製品の上にはあて板を置いて下さい。
- ・傷つき防止のため、化粧面には合紙をあてて下さい。
- ・パレットには、製品の荷重に耐えうる十分な厚みの敷板を使用して下さい。

持ち運びに関する注意事項

- ・鋭角な器物との衝突や角当ては損傷の原因となります。
- ・持ち運ぶ際には、立てて持ち運んで下さい。
- ・化粧板は引きずるとキズの原因となります。
- ・化粧面の一部を支点として取り扱わないで下さい。破損することがあります。

その他の注意事項

①使用場所に関する注意

- ・常時、水分に接するような使用は避けて下さい。
- ・凍結する可能性がある場所には使用できません。
- ・玄関、トイレ等の水に浸される可能性がある場所に施工する場合には、化粧板はたたきから50mm以上上げてお使い下さい。

注意：浴室内には使用しないで下さい。

②施工時、作業時に関する注意

- ・高所作業での足場の確認及び安全帯使用を徹底して下さい。
- ・局部荷重や衝撃により割れることがありますので、重量物を載せたり上に乗ったりすることはお避け下さい。

③廃棄時に関する注意

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき許可を受けた業者で適正な処理を行って下さい。

火気使用場所に施工する場合の注意事項

注 意 事 項

- | |
|-------------------------------------|
| ・火気設備の周囲に施工する場合は、防火上の規制に従って施工して下さい。 |
|-------------------------------------|

火災予防条例により、専用住宅、共同住宅等に設置される火気設備（コンロ等）の周囲は構造規制されます。次のことを参考にして施工して下さい。

- (1) ガスコンロ等を設置する場合、上方は1000mm以上、側面及び背面は150mm以上化粧板から離して下さい。
- (2) コンロの側面及び背面から化粧板まで150mm以上離せない場合、化粧板とコンロの間に防熱板を設置して下さい。
防熱板は、コンロから50mm以上離して下さい。

ガスコンロと化粧板との距離が近いと、コンロの熱や、加熱された鍋やフライパン等が触れることで化粧板の表面に変色や焦げが発生する場合があります。特に業務用コンロの場合は触れる強い火力が予想されます。コンロ側面、背面と化粧板とは200mm以上間隔を取るか、防熱板を設置して下さい。

以上の条件を満たしても、火が直接化粧板に当たらないようにご注意ください。

(変色や焦げが発生しても不燃性能には影響ありません)

※コンロの周囲の壁面構造も各自治体の火災予防条例などにより規制されますのでご注意ください。

免責事項

- ①本施工要領書に記載した取扱い注意事項が行われずに発生した不具合
- ②施工業者による施工、取扱いに起因する不具合
弊社の製品以外の外的要因により発生した不具合
- ③建物の構造・振動・下地の変形・老朽化等、
- ④使用者もしくは第三者の故意または過失による不具合
- ⑤引き渡し後、構造・性能・仕様等の改造を行い、これに起因する不具合
- ⑥地震・台風等の天災、火災等の特殊要因により発生した不具合

株式会社ナガシヨウ 製造・販売

〒411-0801 静岡県三島市谷田867-2

TEL:055-973-6288  :0120-905-761